

ご優待制度のご案内

毎年4月30日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上を保有している株主の方に対し、年1回、普通株式または優先株式のそれぞれの保有株式数に応じ、自社製品詰合せと『伊藤園通信販売「健康体」のパンフレット』を贈呈いたします。

	100株以上 1,000株未満	1,000株以上
自社商品 詰合せ	 1,500円相当	 3,000円相当
伊藤園通信販売 「健康体」の パンフレット		

※画像は2023年にお送りしたご優待品です。

ご優待制度についてお答えします。

- Q** 優待品が届くのはいつですか？
- A** 7月下旬から8月上旬になります。順次発送いたしますので、お届けまでしばらくお待ちください。
- Q** 優待品が届きません。
- A** お引越されていませんか。株主優待品は日本郵便ゆうパックにてお届け予定のため、最寄りの郵便局に転送届を提出していれば転送されます。なお、お届け先は株主名簿の住所に基づいておりますので、お取引のある証券会社へ住所変更のお手続きをお願いします。
- Q** 長期不在や郵便局での保管期間が過ぎ、優待品を受け取ることができませんでした。再送してもらえますか？
- A** 優待品が当社に戻り次第、ゆうパックで再送いたします。発送までにお時間がかかりますことご了承ください。

株主の皆様へ

2024年4月期 | 2023年5月1日～2024年4月30日

特集 「あ〜いお茶」の魅力国内外で発信中

「株主の皆様へ」を皆様と作っていくために 皆様のお声をお聞かせください。

今回、本冊子「株主の皆様へ」をリニューアルいたしました。よりよい冊子を作っていくために右記アンケートフォームより皆様のお声をお聞かせください。皆様に親しまれるコミュニケーションツールとするために、ご協力をお願いします。

株主の皆様の声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp> **アクセスキー**

ご回答いただいた方の中から抽選で謝儀を贈呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクス提供の「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り



表紙・裏表紙には「あ〜いお茶」の茶殻をリサイクルした茶配合紙を使用しています。





代表取締役社長
執行役員

本庄 大介

ごあいさつ

これからも、お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現に貢献します。

伊藤園は本年で創業60周年を迎え、主力ブランドであり世界No.1の無糖緑茶飲料ブランド「お〜いお茶」は、1989年の発売より累計販売本数430億本を突破し、本年2月に発売35周年を迎えることができました。また本年4月30日には大谷翔平選手とグローバル契約を締結し、今後「世界のティーカンパニー」を目指すうえで、世界で活躍する大谷翔平選手と国内外で様々な企画を実施することで、お茶の価値を世界中で一層高めてまいります。

伊藤園グループは、“お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現”を使命として、「健康創造企業」をグループのミッションとして掲げています。新たに策定した「新・中期経営計画」は、2040年度の将来像を設定し、その実現のために今何をするべきかを考え策定しており、より迅速な事業展開を推進してまいります。今後も「心身の健康」「社会の健康」「地球環境の健康」の価値創造に取組み、お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

2024年7月

業績ハイライト

売上高
453,899百万円
(前期比+5.1%)

営業利益
25,023百万円
(前期比+27.7%)

経常利益
26,681百万円
(前期比+31.2%)

親会社株主に帰属する
当期純利益
15,650百万円
(前期比+21.4%)

当社が生み出す価値

ミッション

健康創造企業

「健康」に資する価値の創造

創造していく **3つの“健康”**

心身の健康

- 健康で豊かな食生活の実現
- お茶を介した、人と人とのつながりの創出と深化

社会の健康

- 持続可能な社会の実現

地球環境の健康

- 豊かな自然の恵みを活かした事業活動を行う企業として、地球環境を保全

長期ビジョン

世界のティーカンパニー

茶スペシャリストとして世界の茶文化とつながり、おいしさと価値を広く伝える

「世界のティーカンパニー」へ向けた取組みの **3つの柱**

ユニーク

畑からの製品づくりと資源循環までの、独自のビジネスモデルと技術開発力

価値創造

様々な茶製品と事業活動を通じてお客様の心身の健康と、社会・環境課題の解決に貢献する

グローバル

世界で飲まれている茶を進化させ、世界中の人々の心身ともに健やかな生活を支える

伊藤園グループ 新・中期経営計画 (2025年4月期～2029年4月期)

2022年6月に公表した「伊藤園グループ 中長期経営計画」(以下、前・中期経営計画)を見直し、2025年4月期から2029年4月期までの5年間を対象とする新たな「伊藤園グループ 中期経営計画」(以下、新・中期経営計画)を策定しました。

見直しの理由

- 前・中期経営計画の策定から、物価上昇や為替変動、世界情勢の不安定化、市場環境の変化など、計画の前提となる経営環境の変化が大きくなった
- 伊藤園グループは、創業60周年を迎える節目を機に、今後「世界のティーカンパニー」へ向け、外部環境の変化に対応しながら、さらなる成長を図る

策定の考え方

- 2040年度(2041年4月期)のありたい姿(将来像)を設定
- ありたい姿(将来像)の実現のために今何をすべきかを検討

新たに5年間の「新・中期経営計画」を策定

2040年 伊藤園グループの将来像

世界100カ国以上の地域において、茶を中心とした事業活動により、お客様の健康で豊かな生活と持続可能な社会の実現に貢献

- 国内事業** 収益性向上 (営業利益率: 10%以上)
環境変化に適応した事業体制
自社EC・原料卸売・新規事業が拡大
- 海外事業** 事業拡大 (販売国: 100カ国以上)
お茶(飲料・ティーバッグ・抹茶)に特化
現地企業と事業ネットワークを構築

グローバルなマーケティング・ブランド戦略

【ユニークさの進化】

- 原料調達** 原料調達の優位性を構築
緑茶シェアが拡大
- 生産** 蓄積した技術・品質管理力を活かし、
グローバルなブロック生産体制を構築
- 研究開発** 利益の源泉として
大幅拡充

【経営基盤の強化】

- 組織** 国内外の事業を統括するグローバル本社、
高い生産性の機能別組織
- 人財** 事業戦略と連動し、重点分野の人財を拡充

サステナビリティ経営の推進

新・中期経営計画のポイント

- グループ全体で連携して世界各国で「お〜いお茶」のグローバルブランド化を加速させ、販売国を60カ国以上に拡大
- 国内既存事業においては、収益性を重視した事業体制を構築し、連結営業利益率8%以上を目指す

伊藤園グループ 中期経営計画 (2025年4月期～2029年4月期) のロードマップ

現在 (2024年4月期)	5か年の中期計画 (2025年4月期～2029年4月期)	長期の将来像 (2041年4月期)
	創業60周年 (2024年10月)	お〜いお茶誕生 40周年 (2029年2月)
		世界各地の茶文化とつながり 新たな茶市場を創造
お〜いお茶の グローバルブランド化	世界のティーカンパニー に向けた第2ステージへ 本格的に突入	グループで連携し 世界各国でグローバル ブランド化を加速 販売国 60カ国以上
国内既存事業の盤石化	(～2025年) 環境変化に応じた構造改革	収益性重視の事業体制へ 単独営業利益率 8.5%以上
連結売上高: 4,538億円	年平均伸長率 2%以上 (海外 8%以上*)	年平均伸長率 3%以上
営業利益率: 5.5%	8%以上	10%以上
ROE: 8.9%	10%以上	-
総還元性向: 52.7%	40%以上	-
海外お〜いお茶: 対前年伸長率 12%	年平均伸長率 24%以上	年平均伸長率 10%以上

*為替影響除く

5年間累計キャッシュフロー (2025年4月期～2029年4月期)

キャッシュイン

- 営業キャッシュフロー
1,600億円以上
成長への投資…研究開発、マーケティング、人財、DX、環境
サプライチェーンへの投資…ファブレス生産における工場設備

キャッシュアウト

- 投資キャッシュフロー
設備投資 **550億円**
事業投資 **300億円**
(国内100億円 / 海外200億円)
- 財務キャッシュフロー
株主還元
450億円以上 / 総還元性向40%以上
有利子負債の返済 **250億円**

Webサイトに新・中期経営計画の資料を掲載しております。

パソコンで
ご覧になる場合 } <https://ssl4.eir-parts.net/doc/2593/tdnet/2454728/00.pdf>

スマートフォンで
ご覧になる場合 } 



本年4月に設立した ドイツとベトナムの現地法人をご紹介します

本年4月1日、ドイツとベトナムに新たに現地法人を設立しました。それぞれ、欧州市場・アセアン市場のニーズに迅速に対応し、当社グループの存在感と「お〜いお茶」ブランドの認知度を高め、「世界のティーカンパニー」に向けての事業活動をより一層の加速を図ることが目的です。課題や取組み、意気込みを各現地法人の代表から語っていただきます。



欧州の厳しい基準をクリア

欧州の皆様へ現地で製造する「お〜いお茶」をお届けします

欧州は欧州連合加盟国27カ国に英国を含め、5億人を超える人口で、一人当たりの購買力も高く魅力的な市場ですが、厳しい食品安全や環境基準、20を超える公式言語など市場開拓における課題は少なくありません。しかし障壁を乗り越えることでブランド価値は高まります。3月にドイツで製造を開始したEU規制に準拠した「お〜いお茶」飲料を中心に、欧州の皆様へ安心安全そして環境に配慮した製品の提供を行ってまいります。



ITO EN Europe GmbH 代表 鈴木 彰斗

経済成長著しいベトナムで、

健康創造企業として唯一無二の存在となることを目指します



経済成長著しいベトナムにおいて私たちの主力商品である「お〜いお茶」を現地の皆様へ飲んでいただく機会を増やし、健康創造企業として唯一無二の存在となることを目指してまいります。現地に法人を設立することでより地元の皆様とのつながりを強化し、強い信頼関係のもと、販売を強化していきたいと考えております。ご支援の程、よろしくお願いいたします。

ITO EN VIETNAM CO.,LTD 代表 村上 裕昭



「お〜いお茶」のグローバルブランド化を支える 各国の品質基準に対応する環境配慮型農業

伊藤園独自の持続可能な農業モデル「茶産地育成事業」は、国内での高品質原料の安定調達と茶生産者の安定経営の両立に貢献するだけでなく、**海外事業推進へ向けた、原料、茶産地の課題解決**への対応を進めています。

課題 海外事業発展へ向けた 主な課題

- 【原料の各国で異なる品質基準】
- 【原料茶産地の環境面】
 - ▶ 気候変動の影響
 - ▶ 茶栽培時のGHG排出
 - ▶ 生物多様性の保全

課題解決への取組み

多様な社外関係者との協働による、海外事業の発展と茶産地の環境負荷低減の両立

各国の品質基準へ対応する減農薬、 有機栽培技術の開発

病害虫に抵抗性を有する品種の導入や、農薬を使用せずに防除や除草ができる農業機械の活用などを行っています。また、窒素肥料の代わりに窒素成分が含まれる茶殻を堆肥として活用する循環型農業を推進しています。

DX推進で農業経営安定化と 環境負荷低減を両立

茶生産者のノウハウ、 栽培記録などをデータ化し活用

- ・ AI画像解析による、茶葉の摘採時期の見極め
- ・ 営農支援ツール「アグリノート」による、栽培記録（施肥や農薬など）のデータ化や、当社独自の「農薬適否判定システム」*の導入開始

agri-note.



* 海外向けの緑茶原料が各国の農薬基準に適しているか判定



茶畑へのバイオ炭の散布試験

農業におけるGHG削減（地球温暖化対策）や土壌改良効果が期待されるバイオ炭（木や竹などのバイオマスを炭化させたもの）の茶畑への散布試験を開始しています。





伊藤園 **お〜いお茶** 誕生35周年 **もっと世界へ もっと日本で** **「お〜いお茶」の魅力** **国内外で発信中** **特集**



「いつの日も 僕のそばには お茶がある」
大谷翔平選手と
グローバル契約を締結

本年4月30日、当社はロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手とグローバル契約を締結しました。その活動の一環として、大谷選手には5月20日に「お〜いお茶グローバルアンバサダー」へ就任していただきました。アンバサダー就任にあたって、大谷選手から「今後は『お〜いお茶グローバルアンバサダー』として、日本のお茶文化を世界に

広めるためのプロジェクトなど、新しい取組みを準備しています。皆さん楽しみにしててくださいね」とのコメントをいただきました。「世界のティーカンパニー」を目指す当社は、世界で活躍する大谷選手と国内外で様々な企画を実施することで、お茶の価値を世界中で一層高めてまいります。

国内外60紙以上の新聞に全面広告掲出
当社から大谷翔平選手へ
エールを込めた“お手紙”を公開

国内では日本経済新聞などの五大紙やスポーツ紙、地方紙に、国外ではアメリカや韓国、オーストラリアなど野球人気の国で展開しました。



国内外85ヵ所以上に
大谷翔平選手
「お〜いお茶」巨大屋外広告を掲出！

5月31日から大谷翔平選手の地元である岩手県の盛岡駅の屋外広告を皮切りに、国内82ヵ所、海外6ヵ所で展開しました。



ニューヨーク タイムズスクエア (6月8日～10日(現地日付))

東京 渋谷駅構内 (6月10日～)

お茶の未来を共創する
拠点となる複合型博物館を5月1日に開館

当社は、本年で創業60周年、「お〜いお茶」誕生35周年の節目を迎えました。今後、世界展開の一層の広がりや深化を進めていくにあたり、今までお茶が果たしてきた役割と、人々の生活に寄り添い続ける未来への展望をお伝えしていくことを使命として、

「お茶」と「喫茶」という習慣の関連性や歴史を紐解き、お茶の未来を共創する拠点となる複合型博物館を5月1日に開設いたしました。お茶は人との結びつきを育むものです。当社は、本博物館の開設を通じて、お茶が果たしてきた役割をお伝えしていきます。

お茶の歴史や喫茶習慣の変遷を知る

お茶の文化
創造博物館

OCHA CULTURE CREATION MUSEUM



喫茶習慣が歩んできた道を振り返り、展示物から紐解き、飲まれ方、淹れ方、作り方の変遷を感じていただけます。人々の生活の中で広がっていったお茶の歴史を、パネルやジオラマ、シアター、展示品でお伝えしています。

カフェ・ショップ



ご観覧の後は、抹茶ドリンクが揃うカフェでお茶休憩をお楽しみいただけます。ショップでは当館ならではのおみやげをご用意しています。

お〜いお茶のあゆみや
茶畑からの取組みを伝える

お〜いお茶 ミュージアム
Oi Ocha Museum



時代や人々の生活の変化に寄り添ってきた「お〜いお茶」の現在までのあゆみを展示しています。「お〜いお茶」がどのようにして誕生し、皆様がよく知る形へ変化してきたのか、また茶畑からの取組みをご覧いただけます。また、体験メニューをご用意しています。



再発見!おいしいお茶淹れ体験



世界で1本だけ! オリジナルボトル創作体験

詳しい情報はWebサイトをご覧ください。▶ <https://www.ochamuseum.jp/>



事業指標

		第55期 2020年4月期	第56期 2021年4月期	第57期 2022年4月期	第58期 2023年4月期	第59期 2024年4月期
売上高	百万円	483,360	446,281	400,769	431,674	453,899
営業利益	百万円	19,940	16,675	18,794	19,588	25,023
売上高営業利益率	%	4.1	3.7	4.7	4.5	5.5
経常利益	百万円	19,432	17,029	19,971	20,341	26,681
親会社株主に帰属する 当期純利益	百万円	7,793	7,011	12,928	12,888	15,650
総資産	百万円	290,651	333,065	328,359	338,774	353,892
純資産	百万円	149,695	153,057	163,012	172,128	183,216
自己資本比率	%	51.0	45.6	49.2	50.4	51.3
自己資本利益率	%	5.2	4.7	8.2	7.8	8.9
① 緑茶飲料市場シェア (国内/販売金額)*	%	33	33	34	35	36
② 茶産地育成事業展開面積	ha	1,836	2,207	2,241	2,437	2,512
③ 有機栽培の生産量	t	66	109	236	253	273

*緑茶飲料市場シェアの各期の数値は、前年1月から12月の通期の数値となっています。(例:2024年4月期⇒2023年1月～12月)

Point 1 緑茶飲料市場シェア(国内/販売金額)

緑茶飲料市場は、コロナ禍で2020年、2021年に低迷したものの、2022年以降回復傾向にあります。そうしたなか、当社の緑茶飲料市場シェアは市場規模の回復とともに拡大傾向であり、**2023年通年では36%**になりました。



Point 2 茶産地育成事業展開面積

茶葉の生産現場における就農人口、茶園面積ともに減少傾向にあるなか、当社は茶産地育成事業を展開し、展開面積の拡大と同時に、高品質原料の安定調達を実現しています。**2024年4月期までに2,512ha**を展開しました。



Point 3 有機栽培の生産量

緑茶、抹茶の海外輸出時には、各国の品質基準をクリアする必要があり、各国の基準に対応した減農薬、有機栽培技術の開発を進めています。有機栽培の生産量は年々増加し、**2024年4月期では273t**となりました。



第59回定時株主総会決議ご通知

2024年7月26日(金)開催の当社第59回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項	1. 第59期(2023年5月1日から2024年4月30日まで)事業報告及び計算書類の報告の件 2. 第59期(2023年5月1日から2024年4月30日まで)連結計算書類の報告ならびに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
決議事項	第1号議案 剰余金の処分の件 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く。)9名選任の件 第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件

*議案の詳細につきましては、当社ウェブサイトに掲載している「第59回定時株主総会招集ご通知」をご参照ください。

<https://www.itoen.co.jp/ir/schedule/meeting/>



優先株式について

優先株式とは、普通株式に比べて利益の配当等を優先的に受け取ることができる株式です。

	優先株式	普通株式
証券コード	25935	2593
議決権	なし(注1)	あり
配当	優先配当 普通配当額×125%(注2) 未払い分は累積	普通配当 累積しない
残余財産分配権	普通株式と同等(注3)	—
普通株式への転換権	株主の意向による転換権はなし(注4)	—
単元株	100株	
株主優待	あり	

(注1) 議決権が発生する場合があります。

(注2) 小数第一位を切り上げ、ただし15円を下限とします。また普通株式への配当が無配の場合でも、優先株式に対して1株当たり15円が優先配当として支払われます。

(注3) 累積未払配当がある場合は、普通株式に先立って優先株主に不足分が支払われます。

(注4) 一定の事象により当社が普通株式を対価として、1:1の比率で優先株式を取得することがあります。

株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当金 4月30日 中間配当金 10月31日
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-782-031 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)
電話照会先	電子公告により行います。 (URL: https://www.itoen.co.jp/ir/notice/) なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載方法	電子公告により行います。 (URL: https://www.itoen.co.jp/ir/notice/) なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お問い合わせ先	株式会社伊藤園 広報部 電話 03-5371-7205 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)

株主優待の情報と本冊子についてのアンケートが裏表紙にございます。ご協力をお願いいたします。